

ハンググライディングシリーズ規則

1-1. 【FAI Sporting Code】

1. ハンググライディングシリーズの競技規定は、FAI Sporting Code の General Section と Section7 を前提として設定されている。参加選手はその双方を良く理解した上で大会に参加すること。

1-2. 【ハンググライディングシリーズ年度】

1. 年度は1月1日に始まり、12月31日に終了する。(大会成績の公式発表される日付で管理される)

1-3. 【ランキング】

1. ハンググライディングシリーズランキングは、ハンググライディングシリーズの順位を決めるものとする。
2. 世界選手権選抜ランキングは、次回世界選手権の出場選手を選考するためのものとする。

1-4. 【対象大会】

1. JHF が公認したハンググライディングシリーズの大会のみが対象となる。
2. ただし、海外獲得ポイント換算規則を満たした大会については、世界選手権選抜ランキングの対象となる。

1-5. 【ハンググライディングシリーズ登録】

1. ハンググライディングシリーズの大会にエントリーした時点で、自動的にハンググライディングシリーズに登録されるものとする。

1-6. 【ハンググライディングシリーズランキング】

1. ハンググライディングシリーズ対象大会中のフライト得点からシリーズポイントを計算し、計上本数分だけ加算してランキングを決定する。
シリーズポイントは、フライト得点に参加人数の係数を加味したものとする。

$$\text{シリーズポイント} = \text{フライト得点} \times \text{参加人数係数}$$

フライト得点は「ハンググライディングシリーズ競技規定」の「得点計算」に基づいて計算される、デイリーの得点

$$\text{参加人数係数} = 1.0 - 0.01 \times (45 - \text{競技参加人数})$$

ただし、参加人数係数の最大値は 1.0 とする

2. 合計得点の高い者から順にランキングを与える。
3. 合計得点の同じ者は、係数を加味する前の得点の合計が多い者を上位とする。
4. 計上できるフライト要件はフライト成立要件に準ずる。
5. 年間を通して、計上本数は以下の通りとする。

DQ0.5 が 16 本以上 6 本計上

13~15 本 5 本計上

10~12 本 4 本計上

7~9 本 3 本計上

4~6 本 2 本計上

1~3 本 1 本計上

1-7. 【世界選手権選抜ランキング】

1. 世界選手権の前々年度のポイント 100%と、前々々年度のポイント 50%によりランキングをつける(*)。
2. ハンググライディングシリーズ運営規程の大会成立条件を満たした大会を対象とする。
3. 単年度の計上大会数は以下の通りとする。

大会成立数が 7 本以上 4 大会計上

5~6 大会 3 大会計上

3~4 大会 2 大会計上

1~2 大会 1 大会計上

海外獲得ポイントは(単年度の計上大会数 - 1) 大会まで計上できるものとする。

4. 計算式は以下の通りとする。

$$\{ ((\text{有効人数係数} - \text{順位}) / \text{有効人数係数}) \times \text{参加人数係数} + \text{順位点} \} \times \text{シード係数} \times \text{大会有効率}$$

$$\text{参加人数係数} : 50 - \{ (45 - \text{参加人数}) \times 0.5 \}$$

最大値を 50 とする。

有効人数係数：成立日の半分以上に参加した選手の人数とする。最大値は参加人数とする。

順位点 : 1 位 -5 点、 2 位 -2 点 3 位 -1 点

$$\text{シード係数} : (A \text{ シード数} \times 0.02) + (B \text{ シード数} \times 0.01) + (C \text{ シード数} \times 0.005) + 1$$

成立日の半分以上に参加しているシードを対象とする。

大会有効率 : ディクオリティの合計 / 1.5

ただし、これが 1 を超えた場合は、 $1 + (\text{ディクオリティの合計} - 1.5) / 10$ とし、最大値を 1.5 とする。

注意 同順位が複数出た場合は、同順位者を繰り下げた順位までの平均点とする。

参加選手 100 名の大会で 50 位が 3 名であった場合、50 位が 1 名、51 位が 1 名、52 位が 1 名として、3 名の点数を合計し、その合計点を 3 で割って平均点を算出し、各選手に与える。

1-8. 【世界選手権選抜基準】

1. 日本代表チームはワイルドカード枠から 1 名、ハンググライディングシリーズ枠から 1 名を選考し、残りのチーム枠定員までを世界選手権選抜ランキングから選考する。
2. 選抜された選手が世界選手権の 1 年前までに参加の意思を表明しなかった場合、各枠内において次点の選手に権利を移行する。ハンググライディングシリーズ枠の選手に、世界選手権選抜ランキング枠の権利が移行された場合は、世界選手権選抜ランキング枠を優先するものとする。

(ア) ワイルドカード枠

- ・世界選手権選抜ランキング 50 位以内であること
- ・プレ世界選手権において、参加選手の 30% 以内かつ 30 位以内の成績を獲得し、日本人選手のなかで最上位であること

ただし、上記条件を満たす選手が該当しない場合は、世界選手権選抜ランキング枠に振り替えられる。

(イ) 世界選手権選抜ランキング枠

- ・世界選手権選抜ランキングで上位であること

(ウ) ハンググライディングシリーズ枠(*)

- ・世界選手権前々年のハンググライディングシリーズランキングで最上位であること
- ただし、世界選手権選抜ランキングにより選抜された選手と重複する場合は、下位の選手を繰り上げる。

3. 世界選手権の前々年度末の時点で、競技委員会が選手会長を指名する。選手会長は世界選手権に出場する可能性の高い選手の中から選ばれることが望ましい。選手会長は選手選抜の調整、チームリーダの選出、チーム内での情報共有などの役割を担う。